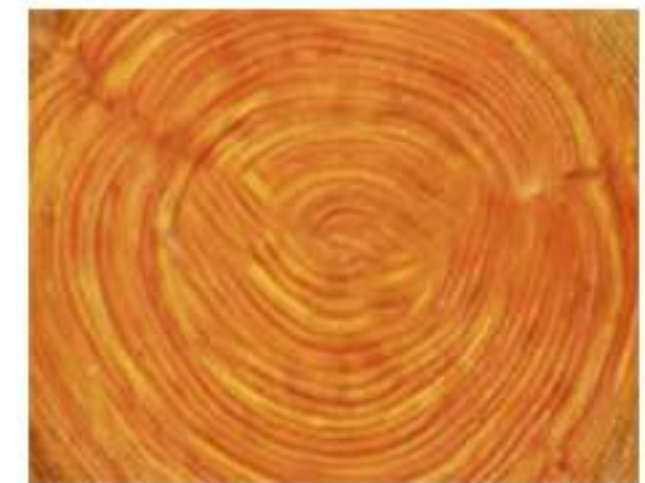


土台へのこだわり

土台（どだい）とは、木造建築で、基礎の上に横にして据える材のことです。
当社が土台に檜を使用しているのにはこだわりがあります。

檜の特徴を説明いたします。



耐久性

檜は成長が遅いので樹齢**60年以上**たたないと**1本**の柱がとれません。
成長に年月を要する為、**年輪の目がこまかく、木がかたく腐りにくい**のです。

強度

檜は伐採した後に強度を増やしていくという特徴があります。
法隆寺で使われている檜は**1300年**経過していますが、
理論上いまだに強度を増しているらしいです。

ヒノキチオール

木の芳香成分にはカビや大腸菌などに抵抗する働きがありますが、
中でも檜にはヒノキチオールと呼ばれる強力な殺菌効果のある成分
が含まれています。

最近では防虫剤や防カビ剤としても使用されています。又殺虫効果
が高いため、土台に使用する場合、薬剤処理をする必要が
ありません。

当社では、さらにプラスの安心のため、シロアリ防蟻処理をおこな
います。

快適性

檜には空気を浄化させる効果やゴキブリやダニを寄せ付けないと
いう防虫効果もあります。柱1本にビール瓶2本分の湿気を調節す
る作用があり、適度に湿度を調整してくれます。

また、当社は土台以外の木部の防腐・防蟻措置にも配慮して
おります。

- 土台に接する外壁の下端には水切りを設ける。
- 地面からの高さが1mまで外壁に防蟻薬剤処理をおこなう。
- 外壁内に通気層を設け壁体内通気を可能とする構造などです。